

地域福祉部

(1) 地域福祉部予算のポイント

◆予算編成の考え方、重視した取り組み

- 1 「町田市地域ホッとプラン」に基づき、2023年1月から、相原地区及び小山地区の2地区をモデル地区とし、地域における包括的な相談支援、及び「地域福祉コーディネーター」による潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援を実施します。(福祉総務課 72ページ)
- 2 生活困窮世帯への支援策として「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給期間を延長し、生活困窮世帯の自立を支援します。(生活援護課 73ページ)

(2) 6月補正予算 地域福祉部予算総括表

一般会計

(単位:千円)

款	項目	補正前の額	補正額	合計	事業名
3 民生費					
1 社会福祉費					
	1 社会福祉総務費	438,283	9,746	448,029	地域福祉推進費
	2 指導監査費	2,373	0	2,373	
	3 障がい者福祉費	16,091,106	0	16,091,106	
3 生活保護費					
	1 生活援護費	14,242,536	34,706	14,277,242	生活困窮者自立支援費
5 災害救助費					
	1 災害救助費	2	0	2	
合 計		30,774,300	44,452	30,818,752	

※職員人件費は除いています。

地域福祉部予算(一般会計)財源内訳

(単位:千円)

	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
補正前の額	30,774,300	17,261,611	5,483,578	0	491,472	7,537,639
補正額	44,452	41,998	0	0	0	2,454
合計	30,818,752	17,303,609	5,483,578	0	491,472	7,540,093

(3) 事業の説明

一般会計		款 3	項 1	目 1	社会福祉総務費		
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源	
6月補正	9,746	7,292	0	0	0	2,454	

担当 福祉総務課

予算書 19 ページ

○事業の内容

- 新規** ① 誰もが身近な地域で支え合い、自分の役割や活躍の機会を得られ、自分らしく暮らすことができるまちの実現を目指し、様々な主体がそれぞれに合った形でつながり、そこで生み出された活力をもとに、地域課題の解決に取り組みます。

○2022年度6月補正における取り組み

- 新規** ① 「町田市地域ホットプラン」に基づき、8050問題やダブルケアなど、複合化・複雑化する市民の困りごとに対応するため、2023年1月から相原地区、小山地区の2地区をモデル地区とし、地域における包括的な相談支援、及び「地域福祉コーディネーター」による潜在的な相談者への継続したアウトリーチ支援を実施します。

主な事業費 ①事業・業務委託料(地域福祉コーディネーター) 9,282千円

特定財源 ①生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国3/4) 7,292千円

一般会計		款 3	項 3	目 1	生活援護費	
	予算額	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
6月補正	34,706	34,706	0	0	0	0
担当 生活援護課		予算書 20 ページ				
○事業の内容						
① 「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対し、経済的及び社会的自立に向けた支援を行います。						
○2022年度6月補正における取り組み						
① 市では、国の制度に基づき支給している新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期間が2022年3月末から2022年8月末まで延長となったことから、引き続き本制度を活用し生活困窮世帯の自立支援を行います。						
主な事業費	① 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金			20,054千円		
	事業・業務委託料			14,577千円		
	(自立支援金支給業務支援			7,518千円)		
	(コールセンター			7,059千円)		
特定財源	① 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金(国10/10)			34,706千円		

